

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月31日

事業所名:ことば療育ルームいろは

	職員へのアンケート結果				事業所としての対応	
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	具体的な改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	89%	11%		・基準を満たしておりますが、職員への周知が十分ではなかったため、今後改めて周知していきます。
	2	職員の配置数は適切である	78%	22%		・基準を満たしておりますが、職員への周知が十分ではなかったため、今後改めて周知していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	56%	44%	・玄関に階段があるが、必要な場合、スロープ設置等を行う。	・玄関前に階段がありますが、スロープ等が必要なお子さまの受け入れが決まりましたら、対応していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	89%	11%		・半年に1度職員面談を行い、半年間の振り返りや目標設定を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	89%	11%		・年に1回保護者向けのアンケートを実施し、いただいたご意見を踏まえて、業務改善につなげるよう話し合いをしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	89%	11%		・自己評価結果は、HPに掲載しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	44%	56%		・現在、第三者による評価は行っていません。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	89%	11%		・活動プログラムについては、お子さまの担当を中心に話し合い、統一した支援ができるよう取り組んでいます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	78%	22%		・個別での療育を行っておりますので、平日、休日、長期休暇に応じた課題は行っていません。お子さまの状況に応じて、プログラムを立てて支援を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	78%	22%		・支援前に職員のスケジュールボードを作成し、予定や役割の確認を行っています。
	16	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	67%	33%		・お子さまの様子で気づいた点や、保護者の方からのお話があった場合は、スタッフの連絡ツールを使用し、毎日共有を行っています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	89%	11%		・支援中の様子は、個別に記録に記載し、次に入るスタッフが前回の様子や経過を確認できるようにしています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%			

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	具体的な改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	67%	33%	・現在利用の方はいませんが、必要に応じて体制を整えます。	・現在医療的ケアが必要なお子さまの受け入れは行っていません。必要に応じて体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	89%	11%		・必要に応じて、情報の共有を行っています。専門機関からの研修は受けておりません。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	11%	89%		・個別の療育を行っているため、放課後児童クラブや児童館との交流の機会は設けておりません。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	67%	33%		・自立支援協議会や2市1町連絡協議会に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	44%	56%		・プログラム形式ではございませんが、個別のご相談があった場合等は、ご家庭での関わり方や対応方法をご説明しております。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	11%	89%		・保護者様のご希望に応じて検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	33%	67%		・定期的な会報等の発行はできておりません。InstagramやHPにて情報を発信していく予定です。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	22%	78%		・行事は予定しておりません。

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	具体的な改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	89%	11%		・必要なマニュアルの作成は行っております。スタッフ・保護者の方に見えるよう掲示を行います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	78%	22%		・必要なお子さまに関しては、どのような場合に身体拘束を実施するのかを説明し、同意を得ております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	89%	11%		・食物アレルギーのあるお子さまに関して、保護者の方から情報を得ています。保護者の方から対応についてお聞きし、対応を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	78%	22%		・インシデントやアクシデントが発生した場合は、書類を作成し報告を行っています。また、会社全体で共有を行っています。